

関係各位

兵庫県病害虫防除所長

令和 7 年度病害虫発生予察防除情報 第 8 号を発表します。

8～9 月に多発生が認められたチョウ目害虫（ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガ）について、10 月にもフェロモントラップでの誘殺数が多く推移し、農作物への被害も広く確認されています。今後の気温は高く推移すると予想されており、11 月以降も野菜類・花き類で被害が発生する恐れがあります。圃場における発生状況に注意して、適切な防除指導をお願いします。

令和 7 年度病害虫発生予察防除情報 第 8 号
チョウ目害虫（ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガ）
の発生状況と防除対策について

- | | |
|-------------------|--|
| 1 対象作物 | 野菜類（キャベツ、レタス、はくさい、たまねぎ等）
花き類（カーネーション、きく等） |
| 2 病害虫名 | ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガ |
| 3 発生地域 | 県内全域 |
| 4 発生状況について | |

（1）ハスモンヨトウの発生状況

- ① 県内 3 か所（加西市、朝来市、南あわじ市）に設置している、ハスモンヨトウ用のフェロモントラップにおける 10 月の合計誘殺数は、加西市、南あわじ市では過去の調査と比較して最も多く、朝来市では 2 番目に多い（図 1）。
- ② 10 月下旬に実施した発生予察圃場調査では、ねぎ（加西市）での幼虫寄生株率は 8.0%（過去 10 年平均 0.0%）、キャベツ（南あわじ市）での幼虫寄生株率は 28.0%（過去 5 年平均 16.8%）と、平年より高い。

（2）シロイチモジヨトウの発生状況

- ① 県内 3 か所（加西市、朝来市、南あわじ市）に設置している、シロイチモジヨトウ用のフェロモントラップにおける 10 月の合計誘殺数は、いずれの地点においても過去の調査と比較して最も多い（図 2）。
- ② 県内各地のねぎ、たまねぎ、キャベツ、レタス、カーネーション等の圃場において、10 月以降も広く幼虫の発生および被害を認めている。

(3) オオタバコガの発生状況

- ① 南あわじ市に設置している、オオタバコガ用のフェロモントラップにおける 10 月の合計誘殺数は、過去の調査と比較して最も多い（図 3）。
- ② 10 月下旬に実施した発生予察圃場調査（南あわじ市）では、キャベツでの幼虫の寄生株率は 8.0%（過去 4 年平均 2.4%）、レタスでの幼虫寄生株率は 40.0%（過去 5 年平均 1.2%）と、平年より高い。
- ③ 10 月下旬に実施した巡回調査では、キャベツにおける発生圃場率が 54.5%（過去 3 年平均 30.7%）、レタスにおける発生圃場率が 50.0%（過去 3 年平均 16.7%）と、平年より高い。

5 今後の予想

気象庁の近畿地方の 1 か月予報（11 月 6 日発表）によると、向こう 1 か月の気温は高く推移すると予想され、上記チョウ目害虫の活動に好適な条件が続くと考えられる。そのため、11 月以降も引き続き圃場で幼虫が発生し、被害が長期化することが懸念される。

6 防除上の留意点

- (1) ハスモンヨトウ（写真 1）、シロイチモジヨトウ（写真 2）、オオタバコガ（写真 3）はいずれも広食性で、加害作物はキャベツ、レタス等の野菜類やきく、カーネーション等の花き類と広範囲におよぶ。
- (2) ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウの卵は鱗毛^{りん}で覆われた卵塊で産み付けられ（写真 4）、孵化^ふ直後の若齢幼虫は集団で加害する。卵塊や分散する前の若齢幼虫の早期発見に努め、速やかに防除を行う。
- (3) オオタバコガ幼虫は、作物の新芽や花蕾、結球部に侵入して加害する。内部に潜り込まれると薬液がかかりにくく、防除効果が著しく低下するため、早期発見・早期防除に努める。薬剤防除の際は、結球部や花蕾などの重なりが多い部分にもしっかりと薬液を行き渡らせる。
- (4) 中・老齢幼虫には殺虫剤の効果が低くなるので、薬剤防除は若齢幼虫期に行う。いずれの虫種も全国的に薬剤抵抗性の発達事例が報告されており、本県でも一部の薬剤で殺虫効果が低い事例を認めているため、薬剤散布後も防除効果の確認に努める。
- (5) 防除薬剤については、農作物病虫害・雑草防除指導指針等を参考に選定し、農薬使用基準を守る。特に、臨機に追加防除を行う際には、薬剤のラベルや説明書、各圃場の防除履歴を十分確認し、薬剤使用回数の上限を超過しないよう注意する。

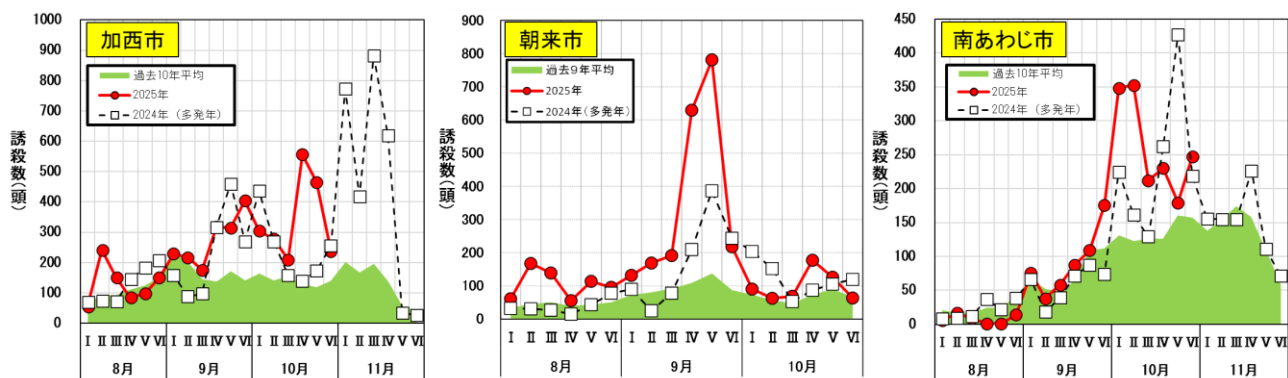


図1 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウ誘殺数の推移

※朝来市の調査は10月で終了

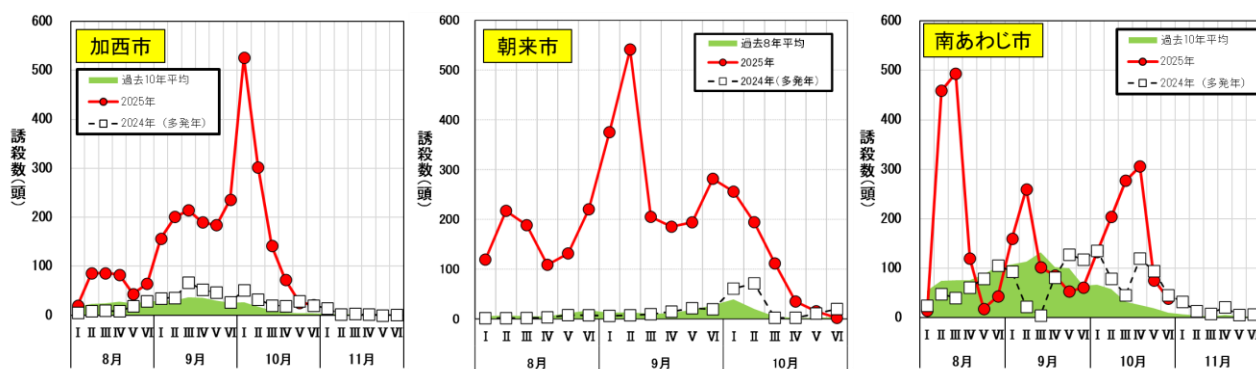


図2 フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウ誘殺数の推移

※朝来市の調査は10月で終了

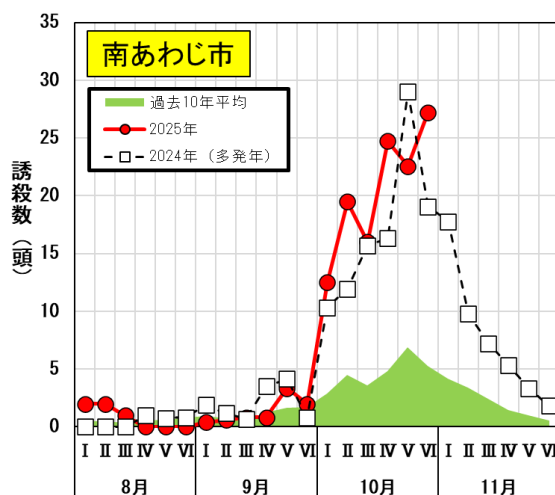


図3 フェロモントラップにおけるオオタバコガ誘殺数の推移



写真1 ハスモンヨトウ幼虫とキャベツ被害葉



写真2 シロイチモジヨトウ幼虫とネギ被害葉



写真3 オオタバコガ幼虫とキャベツ被害葉



写真4 ハスモンヨトウの卵塊（写真左）とシロイチモジヨトウの卵塊（写真右）

*この情報は、兵庫県病虫害防除所ホームページに掲載しています。

<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp>

*農作物病虫害・雑草防除指導指針は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

*兵庫県総合防除計画は以下のURLに掲載

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>

問い合わせ先 兵庫県病虫害防除所 0790-47-1222

「兵庫県病虫害防除所」X(旧Twitter)にて情報発信中。

フォローをお願いします。

Xアカウント (https://x.com/hyogo_boujoshou)

